

謹賀新年



新年明けましておめでとびげんまつます。
本年も宜しくお願い致します。

「早い、早い」と言い続けて12ヶ月。そして2018年を迎えた。今年も2日目が満月で、神秘的でもあった。その数日前の、まさに年末押し迫った時期に、我々がセルドロン事業に画期的な出来事があった。

愛媛県松山市にセルドロン製造機が設置され、試運転を実施したのである。設備を導入して頂いたのは

株式会社カネシロ様 <http://www.kaneshiro.info/>

(以下、カネシロ) 弊社の株主でもあり、セルドロン事業の最大の理解者であり、間違いなくこの事業のキーパーソンである。なぜか。

この事業は大きく言って、

- ① 研究開発
- ② 古紙の回収
- ③ 製造
- ④ 販売
- ⑤ 施工

に分別されるが、カネシロには②と③を分担頂いている。

①は弊社、④は各地の販売店、そして⑤はユーザー即ち大手、中小全ての土木・建設・造園業社と生コンクリート業者である。

勿論、①〜⑤全てが事業にとっての重要なプレイヤーなのであるが②についてはその専門性やある種の閉鎖性から、セルドロン事業の肝になるであろうと考えて来たし、また各方面の方々からも同様の指摘を頂いてきた。カネシロ・小池代表は奇しくも当方と同い年であるが、あまりにも落ち着きが当方とは大きく異なる。愛媛・松山に長年に渡って根付いた底力を感じる方である。

この方が、古紙業界の次世代を思つて賭してくれていることに、うれしさと同時に、ある種の重圧を感じているのが本心であるが、県内に1,500坪の新工場、それもほぼセルドロン事業を想定しての新規投資をして頂いており、そんな悠長なことは言っていられない。

弊社からも長期に渡って製造のサポート要員を派遣するべく準備しているところである。

また、その他、年末には日ごろから大変お世話になつている、富士植木・松本朗取締役/小島次長からは2018年の新たな展開を、

京大・木村先生/澤村先生からはセルドロン事業の未来予想図を、大矢根利器・大矢根社長からは温かな叱咤激励を、東昇商事・小泉代表からは力強い言葉を、長岡生コン・宮本社長からはとても一回り違いとは思えぬ喝を、丸中建設・遊佐代表からは福島復興事業における新たな可能性を、それぞれ頂いた。

各々反芻しながら、年末年始にセルドロン事業について改めて考えてみたが、この事業は本当に無限の可能性を秘めている。

何と言つても、素材であるがゆえの可能性でありしかも特許的には古紙に限定していないと言う範囲の広さ、即ち可能性の大きさがある。

この事業には是非、大きく羽ばたいて貰いたいと他人事のような表現ではあるが心からそう思っている。

さて、2018年。セルドロン事業がしっかりと羽ばたいてくれる年になると信じている。

そんなことも考えつつ、本年も宜しくお願い致します。

藤井 成厚

伊豆の国市ため池案件

続報

先月お伝えしておりました、伊豆の国市、ため池の浚渫にセルドロンが採用され納品が完了いたしました。

施工は、一月中旬を予定しております。

セルドロンは物理的な吸水性能なので、雨水等に直接かかることがなければ品質には問題ございません。

次回は、施工時の状況をお伝えできればと思います。



工場出荷時の様子



現場での荷下ろしの様子

セルドロンで土が機能材料へと

セルドロンを利用した新たな取り組みも進めております。

その中の一つとして、**鉄腕ダッシュのコーナー「新宿DASH」**に土づくりのスペシャリストと紹介されました、大森さんにもお話を聞いていただいております。新宿ダッシュのコーナーでは、固く締まった火山灰土を植栽できるようにするため、昆布の粘り成分のアルギン酸を混合すると良いとアドバイスし、カチカチな土の塊をふかふかな団粒化された土に改質していました。セルドロンでは、土にセルドロンを混ぜていくことでもしかしたら、あんな効果があるかもとのことで今後実験していきます。

群馬県コンクリート圧送協会主催の「先行材・コンクリート処理剤の効能実験」に参加してきました。

この実験の目的は、廃棄物の適切な処理とかけ離れている現状を少しでも改善するために、職長の意識改革の向上を図ることだそうです。

今まで当たり前に残コン処理をやっていたことが、実は法律を犯しかねないことだったのです。それを改善するために、業界全体で動き始めております。セルドロンは、コンクリート圧送車の配管内に残ってしまったコンクリートを処理するために活用されました。

このようなシーンは、実際に現場でも採用されております。多少の残コンでも、硬化してしまおうと扱いにくくなり、はつり作業などの負担が増加します。

ご利用のお客様からは、セルドロンは色々なケースで有効だとお話しもありました。

その他にも、先行モルタルに代わる材料「モレステ」、ポンプ車のホッパー内に残った生コンをその場で処理できる「R2」、アジテータ車内で残コンを碎石状にする「IWAシステム」など盛りだくさんの内容でした。

